

都心三宮からはじめる持続可能なまちづくりへ

包括連携協定の締結

KOBE 
CITY of DESIGN

×



2023年7月19日 共同会見

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社について

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

KOBE
CITY of DESIGN



- ・ 阪急阪神東宝グループの流通事業を担う小売グループ
- ・ 関西エリアで百貨店、食品スーパー、商業施設など約250店舗を展開
- ・ うち神戸市内では神戸阪急（百貨店）をはじめ21店舗を展開

百貨店

Hankyu 神戸阪急

ISI 阪神・御影
HANSHIN

スーパー

阪急OASIS
みんなで創る あなたの市場

市内 6 店舗

南西スーパー

市内 9 店舗

イズミヤ

市内 4 店舗

（うち、エイチ・ツー・オー 商業開発によるショッピングセンター2店舗）

神戸市における取り組み

神戸市は当社グループにとってゆかりのある大切な地です。サステナビリティ経営方針で重点テーマとして位置付ける“①地域の「絆」を深める ②地域の「子どもたち」を育む ③豊かな「地域の自然」を守り、引継ぐ”を実践するため、神戸市内で様々な取り組みを進めています

スーパーの移動販売(関西スーパー)



- 市と高齢者見守り協定を締結し移動販売を実施(北区・須磨区・垂水区の一部)

地元産業との協業イベントを開催(神戸阪急)



- 洋菓子など地元産業や地元企業との協業イベントを定期的で開催

六甲山での森林保全活動(関西スーパー)



- 一般社団法人「ブナを植える会」の活動に協賛し、社員教育の一環として新入社員による森林保全活動を毎年実施

文化事業への協力(イズミヤSC)



- 神戸花物語
- ストリートピアノ
- まちなかアート事業への協力
- 地元大学とのキッズイベント開催

その他、マイナンバーカード出前受付や災害時の物資供給協定、KOBE野菜のレシピブック店頭配布など

神戸市とエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社



1936年 (S11)
阪急神戸会館地階に
「三宮食料品店」設立

(後に阪急百貨店神戸支店へ)



1992年 (H4)
ハーバーランドに
神戸阪急開業



1991年 (H3)
神戸支店から
三宮阪急へ

2007年 (H19)
株式会社阪急百貨店が
エイチ・ツー・オー・リテイリング 株式会社へ
社名変更
株式会社阪急阪神百貨店設立

2019年 (R1) 新生「神戸阪急」 営業開始



2017年 (H29)
そごう神戸店が
グループとして営業をスタート

2021年 (R3)
阪急オアシス
神戸三宮店開業

「神戸阪急」ではない。 「神戸の阪急」になるのだ。

神戸阪急と名乗るだけでは、私たちは満足しない。私たちは神戸に根ざしたい。

根を張り、葉を茂らせ、神戸の皆さまに喜んでいただけるような百花を咲かせたい。

そして、その百花と一緒に楽しみたい。どんな百花が咲くでしょう。私たちも楽しみです。

私たちはどこまでも神戸を想い、神戸と共にあります。神戸の阪急へ。REBORN!

包括連携協定について

包括連携協定項目

上質で明るい夜間景観の形成

まちに訪れる人々の回遊・交流の活性化

神戸らしさに出会える緑豊かなまちづくり

スタートアップ支援

神戸ブランドの発信

上質で明るい夜間景観の形成

KOBE
CITY of DESIGN



神戸阪急周辺におけるまちなかライトアップ



まちに訪れる人々の回遊・交流の活性化

KOBE
CITY of DESIGN



神戸阪急南側でKOBEパークレット設置の社会実験



イメージ



イメージ

にぎわいイベント



神戸らしさに出会える緑豊かなまちづくり

KOBE
CITY of DESIGN



神戸阪急周辺の緑化推進



アーティストの活躍を応援



スタートアップ支援

KOBE
CITY of DESIGN



食のスタートアップ支援



ひょうご神戸スタートアップ・エコシステム コンソーシアムへの参画



神戸ブランドの発信

KOBE
CITY of DESIGN



ふるさと納税返礼品の充実



神戸らしい食文化等をテーマとしたフェアの開催



神戸市とエイチ・ツー・オーリテイティング株式会社は

明るく活気にあふれたまちづくりを目指し

都心三宮を中心に

広く市全域に向けて取り組みを拡げ

暮らしの好循環へとつなげていきます

